

公益社団法人全国精神保健福祉会 平成 28 年度事業・活動報告

- 目 次 -

はじめに	…2
1 事業計画28年度重点課題について	…2
2 基本構想(4つのビジョン)	…3
1)「財政基盤の確立に向けた取り組みの推進」～安定した活動を維持するために 【賛助会員数】	
2)「家族・本人の願いを実現するとりくみ」～精神保健福祉の向上のために～	…4
【政府への要望】	
【交通運賃割引実現国会請願】	
3)「都道府県連への支援の充実」～いきいきと活動し、豊かな未来をめざす～	…6
【都道府県連合会活動実態調査】	
【相談事業】	
【精神障害者家族間の支援者(ピアサポート)の養成】	
*精神障害者家族間の支援者(ピアサポート)の養成《日本財団助成事業》	
*家族による家族学習会事業《JKA 補助事業》	…11
【英国メリデン版訪問家族支援事業】《日本財団助成事業》	…14
【みんなねっとフォーラム 2016 の開催】《日本財団助成事業》	…17
4)「啓発活動と事務局の機能と業務の整備」～みんなねっとをメジャーにする	…18
【広報啓発活動】	
【事務局の機能と法人業務の整備】	…20

公益社団法人全国精神保健福祉会連合会

平成28年度事業・活動報告

はじめに

平成28年4月には障害者差別解消法が施行され、具体的な展開が望まれた。その後発生した相模原殺傷事件により、事件と精神障害を短絡的に結び付けるような事態を招いている。

とりわけ、精神保健福祉法(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律)改正法案にあたり、相模原事件の再発防止と関連し、精神障害者への差別・偏見を助長するだけでなく、我が国の障害者政策と精神保健福祉の時計の針を戻すことにならないか懸念する。医療保護入院における手続きや家族同意の問題を継続して追求していくことはもちろんのこと、精神障がい者当事者への人権侵害を絶対に許すことは出来ない。相模原事件とは区別して、精神保健福祉の向上に資する見直しとなることを望む。

私たち「みんなねっと」は、当事者・家族が当たり前の生活を送れるようになるために会員の総意と創意で、社会に影響力を持てる団体となれるように、活動してきたがより一層強化していくことを誓い、以下、平成28年度事業・活動報告を行う。

1 事業計画28年度重点課題について

- ・国会請願署名提出(平成28年5月13日)

署名総数 62万4,155筆

(衆議院提出分404,533筆 参議院提出分219,602筆+20筆)

要請参加者 162名(17グループ編成)

実際に受取の議員 179名

- ・政策委員会の機能化と政策的検討・提起に基づくとりくみ

(特に・精神保健福祉法見直し提言・精神科病院不祥事への介入)「障害者政策委員会」や「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」、内閣府ユニバーサルデザイン2020会議などの審議等の参加の他、文科省との意見交換などを行った

- ・賛助会員拡大強化

別紙会員数(3ページ参照)

- ・賛助会員新規、賛助会費改定の実施

年会費3,600円(団体裁量取扱い600円含む)

- ・大会・ブロック研修会への助成額の見直し 各ブロック10万円

9月9日

北海道・東北ブロック研修会in北海道(札幌)

9月15日 関東ブロック研修会in群馬(前橋)
10月5～6日 北信越ブロック研修会in新潟(妙高高原)
10月14日 中国ブロック研修会in広島(広島)
10月27～28日 全国大会in三重(津:兼甲州・東海研修会)
11月20日 近畿ブロック研修会(京都)
2月9～10日 九州・沖縄ブロック研修会in佐賀(唐津)
2月16～17日 四国ブロック研修会in愛媛(松山)

・家族支援事業の推進(新規事業の展開を含む)

家族学習会は、前団体からの引継ぎ、その運用体制が財源的には大きな変動もあったことから、初動に混乱をきたしてしまったものの計画の箇所数の実績となった

・8ブロック(各都道府県連)実態把握

都道府県連合会活動実態調査の実施(提出44/47)やブロック研修会やブロック会長会議に事務局からも一部参加する中で、状況把握に努めている。

2 基本構想(4つのビジョン)

1)「財政基盤の確立に向けた取り組みの推進」～安定した活動を維持するために

平成 28 年度の会計実務体制を強化するため、複数名での業務連携をした。公益社団法人会計により合致した処理を行いやすくするために必要な書類や書式、業務手順や内容の見直しと整備、改善を行った。

会員数を 15,000 人とすることを目標に置き、当面 13,000 名を達成することを据えた。近年病院家族会などの解散などで大口の退会が相次いでいる。この退会数を上回るには至っていないが、平成 28 年度の新規加入は個人賛助会員 673 名、団体賛助会員 127 名(32 団体)、特別賛助会員 7 名で合計 807 名であった。

県連の働きかけや役員の講演会などによる新規賛助会員の拡大、団体が解消される場合には個人会員への案内がすすめられ、減少傾向の歯止めの役割を果たしている。ただし、この取り組みはまだ全国的なものになっていない、全都道府県連合会と一体的に本格化していくことが重要である。

平成 27 年度までの未収額回収により、平成 28 年度に繰り越したが単年度のみでなく、平成 29 年にまたがっての複数年計画での執行としている。また、補助予定のあった JKA 補助事業において、申請時補助予定額に比較し、実際の補助額認定において減額となっている。

一方、寄付団体申請を展開するなど昨年比で 1 社増やすなど、収入確保のためにとりくみにも努めている。

【賛助会員数】

賛助会員数算出時期	個人	団体	合計 (単位:人)
平成 27 年度末 3/31	3,655	9,305	12,960
平成 28 年度 4/1	3,474	8,470	11,944 (前年比-1016)
平成 28 年度末 3/31	3,850	8,510	12,360

今年は昨年の総会にて目標値を 13,000 に掲げ、都道府県連合会、役員、みんなねっと事務局ともに会員拡大に力を入れた。

都道府県連合会(地元)からの PR 効果は大きく、「家族会から勧められて、良い本だと聞いたから申し込んだ・県連に見本を見せてもらい、それで購読を決めた」等の声も多く寄せられている。また役員が講師を務める講演会の来場者に、注文書やチラシを付けて PR することで読者につながるケースも多くあった。引き続き希望のある連合会や役員にはチラシや見本を送付し、会員拡大に力を入れていく。

傾向としてはこれまで団体としてとっていた会員がとりまとめを辞め、団体内の会員をすべて個人賛助へ移行するというケースが見受けられた。理由としては「高齢で発送などの事務手続きが難しい」、「個人宅に送付した方が早く読むことができる」などがあった。

2) 「家族・本人の願いを実現するとりくみ」～精神保健福祉の向上のために～

【政府への要望】

2020年のオリンピック・パラリンピックに向けた具体的な予算措置を伴う政策に対し、精神保健福祉教育のカリキュラム化を重点に要望した。

精神保健福祉法見直しでは、家族同意の廃止を中心課題に家族間の傷ましい事件に至る社会的背景へのアプローチと危機介入体制等の提言を位置づけて発言している。

相模原殺傷事件など障害者福祉全般にかかわる問題には種別を超えた連帯と連携で活動をすすめ、厚生労働省の検証チームや政党のヒヤリングなどでも意見表明をしていた。

【交通運賃割引実現国会請願】

今回の国会請願の結果は残念ながら審議未了となった。採択されなかったと気落ちしてしまうこともあるかと思う。しかし、この種の請願が初提出で採択されること

はほとんどないのも事実である。地方議会と違い、国会への請願は浸透するまでくり返していくことが常套で、今後は、採択を得るための戦略を更に練り上げていくことが求められる。

審議未了というのは、国会に提出した時期や国会会期が短く、震災やサミットなどと重なったために十分な時間がなかったためとのご指摘もあった。しかし、国会請願課事務局や請願経験の豊富な複数の他団体からの話を聞く限りでは、今回の平成 28 年 5 月 13 日要請は、国会会期や請願を出す時期として問題はなく、審議にほとんど影響ないとのことであった。現に会期の早い段階で付託された他団体の請願も審議未了扱いであったことから頷ける。

国会請願署名はゴールでなく、交通運賃割引制度の拡充・実現のとりくみの一環である。これまでのみんなねっとは、請願としての働きかけを行なっていなかった。今回はじめてのとりくみが出来たことは大きな足がかりとなった。

今回は不採択であったが、62 万筆という署名により、当初は無関心であったり、重視していなかった議員さんたちも無視できなくなり耳を傾けていただけることにもつながったのである。また、国土交通委員会に付託されたことにより関係する政党・会派・議員のみんなねっとなに対する協力・支援態度が明らかにもなった。この間のみなさんの活動は私たちの足場を固めて、大きな推進力になっている。

精神障害者への公共交通運賃の割引制度の実現は、プロジェクト委員会のまとめを受け、①都道府県連合会毎に請願書を提出、②各地方自治体での意見書の採択、③地元交通業者への要請、④行政評価局への要請、を軸に活動の展開を進めてきている。

この中で、大手私鉄西日本鉄道の割引実施となったのは大きな成果であり、今後の運動を励ますことになった。

《平成 28 年 5 月 13 日国会請願署名提出状況》

署名総数 62 万 4,155 筆(衆議院分 404,533 筆 参議院分 219,602 筆+20 筆)

要請参加者 162 名(17 グループ編成)

実際に受取の議員 179 名

＜衆議院＞○付託委員会 国土交通委員会 ○結果 審査未了

○紹介議員数 114 名 ○署名数 375,120 名

なお、他団体提出の同様趣旨の「精神障害者に対して公共交通機関の運賃割引制度の実施を求めることに関する請願」も同様に「審査未了」に終わりました。

＜参議院＞○付託委員会 国土交通委員会 ○結果 審査未了

○紹介議員数 52 名 ○署名数 181,912 名

なお、他団体提出の同様趣旨の「精神障害者に対して公共交通機関の運賃割引制度の実施を求めることに関する請願」(紹介議員2名 署名数 1,000 名)
「精神保健福祉手帳所持者に交通運賃減額制度を適用すること等に関する請願」(紹介議員19名、署名数 15,788 名)も同様に「審査未了」になりました。

3)「都道府県連への支援の充実」～いきいきと活動し、豊かな未来をめざす～

【都道府県連合会活動実態調査】

今回の調査により、地域性も踏まえ、活動の困難さを克服していくための手立てが求められていることが特徴となった。法人格の有無や人口比によらない組織継承や新規会員の少なさなどの共通する問題、ブロック大会や全国大会のあり方についての検討を要することが改めて浮き彫りとなった。

単純な組織論でなく、笑って、語って、つながっていく活動原点を想起した実態に即した見直しを早急に行うことが必要である。

【相談事業】

今年度の年間相談件数は合計：46 回・317 件となった。

専門職による相談から家族の立場の相談員の体制に移行した。

依頼者の安心感や満足感を大切にすることを心掛け、1 件の相談は 30 分を目安にしなが、必要に応じて時間をかけ丁寧な対応をしてきている。相談内容は、切実で緊迫したものが多く、相談員は、社会の偏見の強さや関心の無さ、地域の支援の弱さ、法律制度の不備を痛切に感じている。当会で、それらの改革に取り組む

●相談日：毎週水曜日 10:00～15:00(祝日は休み)

●担当者

4月～5月：中井・伊藤 6月：野村 7月：伊藤・野村 8月～3月：岡田・野村

●実施回数及び相談件数

4月：4回・29件 5月：3回・22件 6月：3回・20件 7月：4回・32件
8月：4回・28件 9月：4回・22件 10月：4回・21件 11月：4回・26件
12月：4回・27件 1月：3回・21件 2月：4回・32件 3月：5回・37件

【精神障害者家族間の支援者(ピアサポート)の養成】

*精神障害者家族間の支援者(ピアサポート)の養成<日本財団助成事業>

本事業は6年目となるが、昨年に引き続き多くの申請があった。未実施の県連に呼びかけを行い、宮城県連と和歌山県連が新たに事業を実施し、計24か所の

実施となった。

当初は200,000円を各県連に一律で送金する予定だったが、研修会の規模により必要額(予算)に差があった。そのため県連には必要な金額に応じて送金することとし、平成28年9月16日(金)に送金を完了した。

今年度は一律額の送金ではなく、必要額の送金としたため県連からは「必要な額を助成してもらえたのでより充実した研修ができる、資金不足でなかなか呼べなかった講師に来てもらうことができる」等の声が挙がっている。

事業の成果としては、本研修の実施実績を県(自治体)に提出し、相談事業について予算化を要望したところ、今年度から予算化が実現した連合会があった。研修会を受講したことで参加者の知識・技術の向上だけでなく、支援者として家族を支えるという強い使命感を持つことにも繋げることができた。

助成事業計画変更届書(2016年10月12日提出)により都道府県連合会に加え、単会も助成の範囲として事業を実施した。50の家族会の申請があり、それぞれ学習会を実施した。

地域家族会は十数名という小規模で活動をしており、研修会の運営にあたっては、どこの地域家族会も財政的に厳しく、会員から集めた少額の会費から工面していることが多い。特に家族リーダーがいないエリアでは、遠方より家族リーダーを招いて行う必要がある。印刷費、旅費や交通費等、費用負担の面で大きな負担となり、これでは積極的に活動ができず、地域家族会は衰退の一途をたどってしまう。

当会事務局にはそのような相談が相次いでいるため、上半期の振り返りと併せて検討をおこなった。本事業は県連主催の研修会について、地域単位の家族会にも助成を実施できるようにした。

家族会に繋がっていない家族が参加することで、家族を孤立から救う一助となった。

●実施状況

都道府県連合会

	団体名	日時	人数	会場	助成額
1	一般社団法人 北海道精神障害者家族連合会	2016年10月20日	20名	北海道自治労会館	134,000
2	宮城県精神障がい者家族連合会	①2016年12月21日 ②2017年2月2日	①24名 ②33名	仙台市福祉プラザ	250,000
3	一般社団法人 茨城県精神保健福祉会連合会	2017年1月10日	58名	茨城県立健康プラザ	210,000

4	栃木県精神保健福祉会	①2016年11月4日 ②2016年11月9日 ③2016年11月18日 ④2016年11月25日	①19名 ②16名 ③16名 ④17名 計68名	精神保健福祉センター	164,000
5	埼玉県精神障害者家族会連合会	①2016年11月29日 ②2017年2月2日	①38名 ②36名 計74名	埼玉障害者交流センターホール	212,000
6	東京都精神保健福祉家族会連合会	東 ①2016年11月5日 ②2017年3月5日 西 ①2016年12月17日 ②2017年3月11日 多摩 3月4日	東 ①24名 ②22名 西 ①17名 ②19名 多摩 25名	東 ①足立区精神障がい者自立センター ②北区滝野川会館 西 ①昭和信用金庫烏山支店 ②世田谷区立総合福祉センター 多摩 府中ふれあい会館	200,000
7	特定非営利活動法人 富山県精神保健福祉家族連合会	2016年11月17日	19名	富山県総合福祉会館(サンシップ)	212,000
8	NPO法人 長野県精神保健福祉会連合会	2016年10月21日	40名	松本市なんなん広場	137,270
9	NPO法人 岐阜県精神保健福祉会連合会	①2016年12月2日 ②2017年1月18日	①28名 ②25名 計53名	岐阜県農業福祉会館	200,000
10	NPO法人 愛知県精神障害者家族会連合会	2017年2月12日	77	ウインクあいち会議室	249,000
11	NPO法人 滋賀県精神障害者家族会連合会	2017年2月19日	108名	栗東芸術文化会館さくら	299,000
12	公益社団法人 京都精神保健福祉推進家族会連合会	2017年3月16日	33名	京都市右京ふれあい文化会館	205,000
13	公益社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会	①2016年11月2日 ②2016年11月26日	①47名 ②35名 計82名	アネックスパル法円坂	208,000
14	公益社団法人 兵庫県精神福祉家族会連合会	2016年9月22日	31名	兵庫県福祉センター	57,987
15	NPO法人 奈良県精神障害者家族会連合会	①2016年12月4日 ②2017年1月29日	①108 ②28	①社会福祉センター ②大和郡山市三の丸会館	225,000
16	和歌山県精神保健福祉家族会連合会	2016年10月6日	21名	紀ノ川支援センター	149,000
17	NPO法人 岡山県精神障害者家族会連合会	①2017年2月28日 ②2017年3月12日	①8 ②23 計31名	①ゆうあいセンター ②岡山県立図書館多目的ホール	220,000

18	公益社団法人 広島県精神保健福祉家族会連合会	①2016年7月5日 ②2016年7月19日 ③2016年8月23日 ④2016年8月29日	①14名 ②14名 ③9名 ④12名 計49名	栄会館	197,000
19	徳島県精神障害者家族会連合会	2016年11月17日	25名	ホテル千秋閣	208,000
20	香川県精神障害者家族連合会	①2016年11月11日 ②2016年11月18日 ③2016年11月25日	①16名 ②14名 ③17名 計47名	香川県精神障害者家族支援のための交流スペース	201,000
21	公益社団法人 福岡県精神障害者福祉会連合会	①2017年1月20日 ②2016年9月4日(台風のため中止、2017年2月21日に延期)	①41名 ②91名	福岡市吉塚合同庁舎	217,000
22	一般社団法人 熊本県精神障害者福祉会連合会	①2016年10月21日 ②2017年2月23日	①18 ②28	熊本きぼう福祉センター	211,000
23	公益社団法人 大分県精神保健福祉会	2016年10月22日	37名	大分県総合社会福祉会館	180,000
24	NPO法人 宮崎県精神福祉連合会	2016年12月11日	54名	宮崎市総合保健福祉センター	234,000
					4,780,257

単位家族会

	団体名	日程	参加者数	開催地	助成額
1	三郷に八	4/2-12/3	8	長野	8,000
2	NPO 法人精神保健福祉焼津心愛会	6/25-8/27	10	静岡	8,000
3	沖縄市精神療養者家族会「おあしすコール」	7/9-11/12	10	沖縄	8,000
4	丹誠会	8/20-9/17	11	静岡	8,000
5	ゆみはり会	8/28-11/13	6	長崎	8,000
6	はまゆう家族会	7/2-12/3	3	福岡	8,000
7	大家連(国分病院)	7/2-11/5	7	大阪	8,000
8	大家連(阪本病院)	7/10-11/13	8	大阪	8,000
9	NPO 法人家族ピアサポートすたーとらいん① 津	7/20-10/5	7	三重	8,000
10	NPO 法人家族ピアサポートすたーとらいん② 伊勢	7/28-10/13	5	三重	8,000
11	NPO 法人家族ピアサポートすたーとらいん③ 四日市	9/3-11/5	7	三重	8,000
12	大家連(さわ病院)	7/16-11/19	8	大阪	8,000
13	NPO 法人藤枝心愛会	9/10-11/20	9	静岡	8,000
14	つばめの会	8/4-12/1	6	岡山	8,000

15	もみじの会	8/21-11/13	4	岡山	8,000
16	わはは会	9/29-11/24	6	岡山	8,000
17	岡山市精神障害者家族会連絡会	10/25-12/13	6	岡山	8,000
18	みどり会	8/20-10/29	10	静岡	8,000
19	オアシス家族会	9/20-11/15	7	千葉	8,000
20	稲穂会	10/4-12/1	6	東京	8,000
21	やすらぎ会	9/2-10/7	4	静岡	8,000
22	北九州精神障がい者家族会連合会(あかつき会家族会)	10/22-2/25	12	福岡	8,000
23	さいたま市 みなわ会(大宮ふれあい福祉センター分)	9/18-11/20	9	埼玉	8,000
24	さいたま市 浜砂会	8/4-9/29	10	埼玉	8,000
25	さいたま市 もくせい家族会	6/8-8/10	7	埼玉	8,000
26	Bブロック (ウェスタ川越)	9/12-11/14	10	埼玉	8,000
27	Eブロック (入間市中央公民館)	9/13-11/8	9	埼玉	8,000
28	本庄 双葉会	7/5-11/1	4	埼玉	8,000
29	埼玉県精神障害者家族会連合会(すずらんの会)	10/9-2/12	7	埼玉	8,000
30	「地域で心の病を支える家族の集まり」つくし会	10/4-11/29	8	千葉	8,000
31	さくらの友の会	10/1-10/29	7	千葉	8,000
32	NPO 法人すみよし(at のぐさ作業所)	10/1-2/4	8	長崎	8,000
33	家族 SST 交流会	9/4-10/30	5	大阪	8,000
34	大家連家族学習会	10/16-12/11	7	大阪	8,000
35	南河内ブロック学習会	11/19-1/21	7	大阪	8,000
36	子どもの立場 A グループ(若手)	9/18-12/18	5	東京	8,000
37	きょうだい家族学習会	9/17-3/11	9	東京	8,000
38	あまかれん(またはひょうかれん)	11/19-3/18	9	兵庫	8,000
39	湘南あゆみ会	10/13-2/8	6	神奈川	8,000
40	吉田町精神保健福祉会「秋桜」	10/15-12/4	4	静岡	8,000
41	むつみ会(豊障会館 豊橋)	10/22-1/21	4	愛知	8,000
42	むつみ会(愛家連東三ブロック会 ウィズ豊川)	10/16-1/22	6	愛知	8,000
43	なりた会	11/6-1/15	5	千葉	8,000
44	ファーム栗の木	11/5-1/21	9	千葉	8,000
45	まごころ会(沼津市)	11/5-12/13	10	静岡	8,000
46	埼家連 Aブロック (障害者交流センター)	10/22-2/25	3	埼玉	8,000

47	子どもの立場 B グループ(30 代～)	9/18-12/18	6	東京	8,000
48	愛家連知多ブロック	12/15-3/30	8	愛知	8,000
49	北海道 函館(愛泉会)	1/19-3/22	4	北海道	8,000
50	愛知県 西尾張ブロック(稲穂会)	1/28-3/25	9	愛知	8,000
合計					400,000

* 家族による家族学習会事業<JKA 補助事業>

- 平成 28 年度新規事業として JKA の補助金を受けて実施した。

4 月から 8 月頃までは、事務局からの情報発信の遅れなどで混乱があったが、徐々に整理され、年度末までには計画のすべてを無事に終えることができた。

「みんなねっと」から参加以外の単会も対象に全国に呼び掛けた。

- 事業内容

①企画プロジェクト委員会 年 4 回

開催回	開催日
第 1 回	5 月 27 日
第 2 回	10 月 5 日
第 3 回	11 月 24 日
第 4 回	平成 29 年 3 月 16 日

②アドバイザー研修会 年 2 回

開催地	開催日
東京(池袋)	9 月 6 日
福岡(北九州)	10 月 5 日

③家族学習会セミナー

家族学習会セミナー:年 3 回	開催日
香川	平成 29 年 1 月 29 日
石川	平成 29 年 2 月 26 日
青森	平成 29 年 3 月 12 日

④担当者研修 10 か所

開催県	開催日
岡山県精神障害者家族会連合会	5 月 20 日、7 月 29 日

大阪府精神障害者家族会連合会	6 月 25 日
埼玉県精神障害者家族会連合会	6 月 29 日
横浜市精神障害者家族連合会	7 月 1 日
千葉県精神障害者家族会連合会	7 月 28 日
愛知県精神障害者家族会連合会	8 月 11 日
静岡県精神保健福祉会連合会	9 月 17 日
広島県精神保健福祉家族会連合会	11 月 25 日
奈良県精神障害者家族会連合会	平成 29 年 2 月 14 日
宮崎県精神福祉連合会	平成 29 年 3 月 1 日

⑤家族学習会：年 50 ヶ所(1 ヶ所 5 回シリーズ参加者計 356 名)

団体	開催地	日程
北海道 函館(愛泉会)	北海道	H29/1/19-3/22
三郷に八	長野	4/2-12/3
なりた会	千葉	11/6-1/15
ファーム栗の木	千葉	11/5-1/21
オアシス家族会	千葉	9/20-11/15
「地域で心の病を支える家族の集まり」つくし会	千葉	10/4-11/29
さくらの友の会	千葉	10/1-10/29
さいたま市 みなわ会(大宮ふれあい福祉センター分)	埼玉	9/18-11/20
埼家連 Aブロック (障害者交流センター)	埼玉	10/22-2/25
さいたま市 浜砂会	埼玉	8/4-9/29
さいたま市 もくせい家族会	埼玉	6/8-8/10
B ブロック (ウェスタ川越)	埼玉	9/12-11/14
E ブロック (入間市中央公民館)	埼玉	9/13-11/8
本庄 双葉会	埼玉	7/5-11/1
埼玉県精神障害者家族会連合会(すずらんの会)	埼玉	10/9-2/12
稲穂会	東京	10/4-12/1
きょうだい家族学習会	東京	9/17-3/11
子どもの立場 A グループ(若手)	東京	9/18-12/18

子どもの立場 Bグループ(30代～)	東京	9/18-12/18
湘南あゆみ会	神奈川	10/13-2/8
NPO 法人精神保健福祉焼津心愛会	静岡	6/25-8/27
丹誠会	静岡	8/20-9/17
NPO 法人藤枝心愛会	静岡	9/10-11/20
みどり会	静岡	8/20-10/29
やすらぎ会	静岡	9/2-10/7
まごころ会(沼津市)	静岡	11/5-12/13
吉田町精神保健福祉会「秋桜」	静岡	10/15-12/4
むつみ会(豊障会館 豊橋)	愛知	10/22-1/21
むつみ会(ウィズ豊川)	愛知	10/16-1/22
愛家連知多ブロック	愛知	12/15-3/30
愛知県 西尾張ブロック(稲穂会)	愛知	H29/1/28-3/25
NPO 法人家族ピアサポートすたーとらいん① 津	三重	7/20-10/5
NPO 法人家族ピアサポートすたーとらいん② 伊勢	三重	7/28-10/13
NPO 法人家族ピアサポートすたーとらいん③ 四日市	三重	9/3-11/5
大家連(国分病院)	大阪	7/2-11/5
大家連(阪本病院)	大阪	7/10-11/13
大家連(さわ病院)	大阪	7/16-11/19
家族 SST 交流会	大阪	9/4-10/30
大家連家族学習会	大阪	10/16-12/11
南河内ブロック学習会	大阪	11/19-1/21
あまかれん(またはひょうかれん)	兵庫	11/19-3/18
つばめの会	岡山	8/4-12/1
もみじの会	岡山	8/21-11/13
わはは会	岡山	9/29-11/24
岡山市精神障害者家族会連絡会	岡山	10/25-12/13
はまゆう家族会	福岡	7/2-12/3
北九州精神障がい者家族会連合会(あかつき会 家族会)	福岡	10/22-2/25
NPO 法人すみよし(のぐさ)	長崎	10/1-2/4

ゆみはり会	長崎	8/28-11/13
沖縄市精神療養者家族会「おあしすコール」	沖縄	7/9-11/12

【英国メリデン版訪問家族支援事業】《日本財団助成事業》

- 目標と目的:「英国メリデン版訪問家族支援」の日本への普及の取り組み
スーパービジョンを受けたのち、トレーナーズコースへの派遣を行う

平成27年末頃より、メリデン版訪問家族支援の今後の見通しについての議論がされるようになった。

みんなねつとを構成する家族は、精神障害者当事者および家族の心情に共感して対話型・訪問型の支援がなされることを望んでいる。

しかし支援実施者は家族ではなく専門的技術と知識をもった人達であり、家族会での事業はそうした専門家へのアプローチが脆弱であることがより鮮明になってきた。

今後の事業の主体となるには、より多くの専門家と専門家団体の協力を得て、より広い活動を行う必要性があり、専門家の養成と事業の普及を主軸において活動できる団体が好ましいことが議論されるようになった。

平成28年3月、当会理事会にて、今後の事業を盛り上げていくため、多くの個人と団体を巻き込むために当会外部への事業継承をおこなうことが決議され、平成28年5月、総会で決定された。

本年度に入り、6月26日、5名の協力委員に対して事業のマネージメントを行っている京都ノートルダム女子大学の佐藤准教授に対し、事業の母体が変更となることの報告をおこなった。その場で、実際に英国に行って研修を受けた5名の協力がないと事業をすすめられない為、5名に対しても同様に経過を報告すること、としながらも、「メリデン普及に対する熱意は皆十分にある」「全員の事業展開の決意に変わりはない」との言葉を受けて、5名の協力委員の意思確認の上で、今年度の事業が開始されることになった。

事業のプロジェクトチーム第1回会議では、総会決定を受け既存団体への事業継承と新団体設立の両面から議論を行ったが、既存の団体に事業継承を行うには、時間が少ないことから、新団体を立ち上げる方向で検討することにした。

また、5名の協力委員の意思確認については「残念なこと」としながらも、「メリデンの意義と有用性は感じており」「今後も広めていきたい」との意見で全員一致。今後でもご協力いただけることが確認され報告された。

第2回プロジェクトチーム会議では設立趣意書の検討が行われ、下記について議論を行い確認された。

- ・法人格としては一般社団法人を検討する
- ・メリデンの普及と人材育成に特化した活動を目指す
- ・年内の設立を目指し、2～3か月は助走期間、4月には継承できるように準備を進める
- ・設立準備委員会を置き、その構成は基礎コース参加者とプロジェクトチーム委員を中心とする
- ・次年度の予算と補助金等申請団体については新団体（設立準備委員会）で行う

第3回プロジェクトチーム会議では新団体の年内成立は困難な見通しであること、メリデントレーナースコースの参加申し込みが終わり、スーパービジョンも順調であること、新たな本年度事業として、メリデン版訪問家族支援事業の総括事業として、3月に報告集会を、また事業報告のパンフレットを作成することが協議された。また新団体の、定款、予算、事業計画の各案が承認された。

第4回プロジェクトチーム会議は主に報告集会と事業報告パンフレットの内容について検討を加えた。スーパービジョンも予定通りに終えていることが報告された。新団体の設立登記も無事に承認された。新団体で新たな基礎コースの派遣者を募集しており、ACT への協力も依頼した。

トレーナースコースは世界各国より44名が受講した。受講者には事前に課題が出され、英語でのプレゼン資料等を作成して研修に臨み、無事に研修を終えて帰国した。

第5回プロジェクトチーム会議は平成29年年3月27日(月)報告集会終了後16時よりの拡大会議とした。本條理事長と、協力委員の小松容子さん、大野美子さんを加え、皆で頑張ったことを確認しあい、本日の報告集会の成功を喜び、メリデン版訪問家族支援事業のみんなねっととしての事業終了に伴い、本條理事長からの挨拶、および各委員の所感を出し合う場とした。

主な意見として次のようなものがあつた。「皆さんのご協力があつたからこそ、短時間で日本での養成者ができた」「良い研修機会を頂いた」「家族会と一緒に事業をすすめたかった」「メリデンが普及していくには、まだ時間がかかる、次のステップを着実にすすめたい」「そのため、養成者を増やしたい」など、これまでの成果を確認しつつ、今後の希望を語る内容であつた

●運営委員

白石弘巳(東洋大学)松澤 勝(当会副理事長)、佐藤 純(京都ノートルダム女子大学)、伊藤千尋(淑徳大学)、野村忠良(当会理事)、山本哲史(順不同、敬称略)

・プロジェクト委員会(委員委嘱期間):平成28年8月5日～平成29年3月31日

回数	参加者	開催日
準備会議	佐藤、松澤、伊藤、山本	平成28年6月26日
第1回	松澤(委員長)、白石、佐藤、伊藤、野村、本條(オブザーバー)、山本	8月5日
第2回	松澤、白石、佐藤、伊藤、野村、山本	9月12日
第3回	白石、佐藤、松澤、伊藤、野村、山本	12月2日
第4回	白石、松澤、伊藤、野村、山本	平成29年2月20日
第5回	本條、白石、佐藤、松澤、伊藤、野村、山本	3月27日

●スーパービジョンの実施と参加

以下のように4名の訪問支援事業による、スーパービジョンが終了した

回数	参加者数	スーパーバイズの実施日
第1回	吉野、酒井	平成28年7月18日
第2回	吉野、酒井	9月1日
第3回	吉野、酒井、小松	10月11日
第4回	吉野、酒井、小松、長江	12月7日
第5回	吉野、酒井、小松、長江	平成29年1月18日
第6回	吉野、酒井、小松、長江	2月15日

参加人数が異なるのは、それぞれ試行事業の開始時期が異なるためである。
スーパービジョン途中であっても、残りの回数をトレーナーズコース修了後に補うことで今年のトレーナーズコース参加が認められた。

のこる一人は、所属機関との調整中で現在は試行事業開始が困難な状況。
トレーナーズコースとスーパービジョンの参加実施は次年度以降の取り組みとなる。

●トレーナーズコースへの派遣

トレーナーズコースの受講は、スーパーバイズを6回受けることが前提条件。
平成29年3月6日～10日に3名を派遣、無事にコースを修了している。

【みんなねっとフォーラム 2016 の開催】《日本財団助成事業》

- 目標：精神障害者と家族が抱えている課題を取り上げ、その課題に取り組んだ成果を発表する場を設け、精神障害者、家族、専門職、支援者等へ精神保健分野への理解を広めていく。

●当日の様子

参加者は 560 名。北海道や鹿児島からの参加もあり、全国各地から、当事者・家族、様々な専門職が集まった。

アンケートによる午前の講演の感想について、これまでにない高評価となった。ほとんどが「良かった」と「ほぼ良かった」という回答結果となり、昨年よりも多かった。また、「良くなかった」との回答は 0 件だった。感想内容は、「とても分かりやすかった」「涙が止まらず感銘を受けた」「先生ご自身の体験や関わった方たちとのエピソードがとても役に立った」さらに専門職者から「自分の対応の仕方を再考する時間になり、出来ることからやっていこうと思いました」という、伝え方や内容について高評価の声が多かった。

午後のシンポジウムについては、良かったという感想が 210 件(91%)で、昨年よりも好評であった。感想内容は、「当事者やご家族の声を聴けて良かった」という意見が特に多く、そのため「対話形式が良かった」という意見が多くあった。支援者や助言者への好意的な意見も多かった。そして、「ACT やオープンダイアログについて良くわかった」と、内容に関しても高い評価があった。「訪問型の本人・家族支援について確実に理解を広げるきっかけとなっただろう」との手ごたえを感じている。

●運営委員(委嘱期間：平成 28 年 9 月 9 日～平成 29 年 3 月 31 日)

大塚淳子(帝京平成大学)、伊藤千尋(淑徳大)、金川洋輔(地域生活支援センターサポートセンターきぬた)、野村忠良(当会理事)、岡田久実子(当会理事)、山本哲史(事務局)、(順不同、敬称略)

No	参加者	開催日	内容
第 1 回	大塚、伊藤、金川、岡田、野村	平成28年 9 月 9 日	テーマと講演者等決定
第 2 回	大塚、伊藤、金川、岡田、野村	10 月 7 日	プログラム、広報等
登壇者 会議	大塚、シンポジスト	平成 29 年 2 月 7 日	シンポジスト打合わせ
第 3 回	大塚、伊藤、金川、岡田、野村	2 月 21 日	当日の動きなど
第 4 回	大塚、伊藤、金川、岡田、野村	3 月 14 日	反省会

●実施内容

- ・会場（帝京平成大学、沖永記念ホール）
- ・日程 平成 29 年3月3日（金曜日）
- ・講師：夏莉郁子先生
（医療法人社団峻凌会・やきつべの径診療所理事・児童精神科医）
- ・フォーラムテーマ「家族それぞれの自立をめざして～親あるうちに～」
- ・講演テーマ
「それぞれの自立をめざして～本人・家族・医療者が、共に考えられる社会へ～」
- ・シンポジウムテーマ「それぞれの自立～開かれた対話～」
- ・コーディネーター：大塚淳子先生（帝京平成大学健康メディカル学部教授）
- ・助言者：夏莉郁子先生（やきつべの径診療所理事・児童精神科医）
- ・シンポジスト：
当事者の女性、とその支援者三ツ井直子さん
（訪問看護ステーション KAZOC 看護師：東京都）
訪問支援を利用している家族と支援者
（佐藤晋さんだるまさんクリニック PSW：埼玉県）
- ・参加者 560 名/（定員 700 名）

4)「啓発活動と事務局の機能と業務の整備」～みんなねつとをメジャーにする～

【広報啓発活動】

●メルマガ発信

発信回数：15回/年、登録者数：1218 名（平成 29 年 3 月 23 日最終発信時点）

今年度は、月に1～2回のペースで発信した。内容は、月刊誌の情報や新事業の家族学習会のお知らせなど、精神保健分野に関する多岐にわたる情報を発信した。特に今年度は、新たに「配偶者・パートナーの集い」や「県連主催イベントのご案内」の情報も発信していった。

登録者数は、年度初め 956 名、最終発信日に 1218 名となり、262 名増加した。

●ホームページの整備

当会のホームページはパソコンからの閲覧者が多く、スマートフォンなどからの閲覧者が少ない状況となっている。当会ホームページの閲覧者数は月平均 1 万件となっ

ており、情報発信の有力な場に位置づけられる。多様な家族の立場についても情報を発信できるように努めた。

また、トップページのピックアップ欄に例えば「運賃割引」という欄を新たに設けて、運賃割引一覧や請願行動、運賃割引の実現などの精神障害者交通運賃割引に関する記事を見やすくするなど、こまめに更新をしている。

●月刊誌「みんなねっと」発行事業

月刊誌の内容と発行部数の充実は、みんなねっとの活動に魅力がなければ難しい。家族が心から必要としていることを実現させるための活動が活発に繰り広げられ、月刊誌に反映されるよう、組織として真摯に取り組む必要がある。たとえば青木先生年金講演などを通じ新規申し込み実績から学び、関係関連研修でのみんなねっと誌の宣伝も有効である。

・編集委員長 野村理事

編集委員：小幡事務局長・谷（萌文社）・飯塚理事・事務局職員4名

・発行部数は、毎月12,300部～12,500部（月により増減あり）

・記事内容は、家族の手記、当事者・家族からの投稿、精神保健福祉の動き、精神科医療、精神障害者の年金、経済的支援の情報、特集では、家族学習会、みんなねっとフォーラムの講演内容（自立と家族支援）、みんなねっと政策委員会報告、家庭内暴力に係る訪問看護、ACT、啓発教育、イタリアでの精神保健福祉機関との交流、アウトリーチなどであった。

・編集会議は、編集委員全員が集まり毎月1回開催。

●メディア取材や掲載

平成28年度は、関係団体からの原稿依頼等を受け、とりわけ相模原事件取材の機会が多かった。掲載のあった主な報道機関等は下記の通り。

・書籍 精神保健福祉白書2016、年金相談

・新聞 読売新聞、産経新聞、朝日新聞、赤旗新聞、福祉新聞、共同通信社

・雑誌 週刊朝日、ノーマライゼーション、みんなのねがい

・web ママテナ、各種WEBニュースサイト

【事務局の機能と法人業務の整備】

事業の標準化、組織内会議や行政所管会議などの対応に当会の意見を反映させるため、法人体制を見極め慎重に実施をすすめた。

●組織会議など

総会・理事会・三役会

日付	予定	内容
平成 28 年 4 月 6 日(水)	第 1 回 三役会	<ul style="list-style-type: none"> ・書面理事会、総会の議題等について ・日本精神保健福祉連盟への加盟の有無 ・平成 28 年度障害者総合福祉推進事業 ・その他
5 月 2 日(月) ～10 日(火)	第 1 回 書面理事会	第 1 号議案平成27年度事業・活動報告(案) 第 2 号議案 平成 27 年度収支決算(案) 第 3 号議案 理事会推薦役員候補(案) その他
5 月 26 日(木)	第 2 回 定期理事会	第 1 号議案 総会議案の件 第 2 号議案 総会特別決議提案の件 第 3 号議案 顧問任命の件 第 4 号議案 次期ブロック選出役員の件 その他
5 月 26 日(木)	定期総会	第 1 号議案平成 27 年度事業・活動報告に関する件 第 2 号議案平成 27 年度収支決算に関する件 第 3 号議案 平成 28 年度事業・活動方針に関する件 第 4 号議案 平成 28 年度収支予算に関する件 第 5 号議案 次期役員の選出 その他
5 月 26 日(木)	第 3 回 臨時理事会	第 1 号議案 代表理事選任に関する件
5 月 27 日(金)	会長・ 事務局会議	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本地震支援について ・事業計画の具体化に向けて
6 月 1 日(水)	第 2 回 三役会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害義援金のとりくみ ・今後の事業計画の具体化と政策委員会について ・その他

8月3日(水)	第3回 三役会	<ul style="list-style-type: none"> ・相模原事件を受けて ・交通運賃 PT に関して ・ヤンセンファーマーの提案について ・災害義援金第1次配分について ・その他
10月11日(火)	第4回 三役会	<ul style="list-style-type: none"> ・災害義援金第1次配分について ・会費納入のあり方と山口県連について ・2017年度事業について ・結集軸の検討について ・その他 理事会議題の確認
10月21日(金)	第4回 定期理事会	第1号議案 他障害同等の交通運賃割実現運動について 第2号議案 山口県連の現状と対応について その他
12月7日(水)	第5回 三役会	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県の対応について ・アジア太平洋障害者センターからの要請について ・3月第5回理事会の日程および議題について IT 関連インフラについて その他
平成 29 年 2月1日(水)	第6回 三役会	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県の対応について ・平成 29 年の事業計画(案)、および予算(案)の検討 ・第5回理事会の日程および議題について ・その他
3月17日(金)	第5回 定期理事会	第1号議案平成29年度事業計画(案)について 第2号議案 平成29年度予算(案)について 第3号議案 山口県連の正会員資格について その他

●各委員会(各事業報告内にて掲載のないもの)

みんなねっと政策委員会 平成28年度の政策委員会は3回開催された。

1青木聖久 2池原毅和 3白石弘巳 4寺谷隆子 5長谷川利夫 6羽藤邦利
7本條義和 8木全義治 9松澤勝 10 堤年春 11 野村忠良 12 小幡恭弘

平成28年 4月11日(木)	第3回 (平成27年度からの通し回数)	1)「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会」の二つの分科会の各論点に関して、当会から表明すべき意見に関する議論のまとめ 2)「こころのバリアフリー」教育の目的・目標について(カリキュラム化の推進)
7月19日(木)	第4回	1)「こころのバリアフリー」福祉教育のカリキュラム化について 2)家族間の傷ましい事件等にいたるまでの保健医療アクセス保障について
平成29年 1月26日(木)	第5回	1)非自発的入院の形態と医療保護入院のあり方について 2)内閣府「障害者基本計画(第4次)」審議に向けての基本方針 3)障害年金についての要望書案についての意見

●行政当局・公共団体等の役割受任

ここでは、代表して社会保障審議会(障害者部会)、これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会、内閣府障害者政策委員会について掲載する。

社会保障審議会(障害者部会)		
平成28年 6月30日(木)	第80回	1)「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の一部を改正する法律」について(報告) 2)その他
10月19日 (水)	第81回	1)障害福祉計画及び障害児福祉計画に係る基本指針の見直しについて 2)その他
11月11日 (金)	第82回	1)障害福祉計画及び障害児福祉計画に係る基本指針の見直しについて 2)その他
平成29年 1月6日(金)	第83回	1)障害福祉計画及び障害児福祉計画に係る基本指針の見直しについて 2)その他

2月22日(水)	第84回	1) これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会の報告書について 2) その他
----------	------	---

これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会		
平成28年 4月28日(木)	第2回医療保護 入院等のあり方 分科会	1) 医療保護入院等のあり方について 2) その他
6月29日(水)	第3回医療保護 入院等のあり方 分科会	1) 医療保護入院等のあり方について 2) その他
7月21日(木)	第4回医療保護 入院等のあり方 分科会	1) 今後議論すべき論点について 2) その他
9月30日(金)	第3回	1) 「相模原市の障害者支援施設における事件の 検証及び再発防止検討チーム」の中間とりまとめ について 2) 新たな地域精神保健医療体制のあり方分科会 における論点整理について 3) 医療保護入院等のあり方分科会における論点 整理について
11月11日 (金)	第4回	1) 新たな地域精神保健医療体制のあり方につい て 2) 精神保健指定医について 3) 医療保護入院等のあり方について
12月22日 (木)	第5回	1) これからの精神保健医療福祉のあり方について 2) その他
平成29年 1月6日(金)	第6回	1) これからの精神保健医療福祉のあり方について 2) その他
1月27日(金)	第7回	1) 精神保健指定医の指定等のあり方について 2) 医療保護入院制度のあり方について 3) 措置入院に係る医療等の充実について 4) とりまとめ素案について

2月8日(水)	第8回	1)とりまとめ案について
---------	-----	--------------

第3期障害者政策委員会		
平成28年 10月21日 (金)	第30回	<ul style="list-style-type: none"> ・委員挨拶 ・委員長選出等 ・今後の審議スケジュール等について ・平成26・27年度障害者施策実施状況について
12月12日 (月)	第31回	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年「障害者週間」の結果について ・障害者差別解消支援地域協議会の設置状況等について ・成年後見制度について ・今後の審議の進め方について ・今後の障害者施策の課題について
平成29年 2月24日(金)	第32回	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消支援地域協議会の設置状況等について ・障害者基本計画(第4次)骨格案について